

不動産鑑定士
2024年合格目標
学習経験者対象
受講ガイド

(FU24088)

著作権者 株式会社東京リーガルマインド

(C) 2023 TOKYO LEGAL MIND K. K., Printed in Japan
無断複製・無断転載等を禁じます。

学習をはじめる前に

◎ 受講証について

お申込受付後に受講証を配布いたします。受講証は、受講証番号と会員番号が記載されています。講座に関するお問合せや、マークシート・論文答案提出の際などに必要となります。また講座受講の証明となるもので、今後「割引制度」をご利用して、各種講座をお申込する際にご提示いただくことがございます。大切に保管してください。

万一、お受け取りになられていない場合は、お申しいただいた LEC 各本校窓口、もしくは、下記 LEC コールセンターまでお問合せください。

なお、弊社『LEC On-line』で、通学講座を全く含まない通信講座（【通信】全て通信など）をお申込の場合は、「受講証」は発行されず、お申込時に弊社より送信されたメール（件名：「LEC On-line【重要】ご確認ください。ご注文手続完了のご連絡です」）をもって「受講証」の代わりにさせていただきます。上記メールには、「受講証番号」や「会員番号」等、今後講座を受講いただく上で必要となる情報が記載されていますので、大切に保管してください。

◎ 教材の発送について

教材の発送は、通信スケジュールに沿って発送いたします（論文対策講座：P15、短答対策講座：P17 を参照）。原則、発送開始日から数日でお届けいたします。発送開始日から一週間以上過ぎても届かない場合は、お手数をおかけしますが、下記 LEC コールセンターまでお問合せください。

LEC コールセンター

0570-064-464（ナビダイヤル）

固定電話・携帯電話共通（PHS・IP 電話からはご利用できません）

受付時間：平日/9：30～20：00 土・祝/10：00～19：00

日/10：00～18：00

※通話料金はおお客様負担となります。予めご了承ください。

◎ 受験願書のお取寄せ・出願について

例年、せっかく学習してきたにもかかわらず、願書を提出し忘れて受験できない方が数名いらっしゃいます。願書のお取り寄せ・ご出願は、ご自身で行ってください。なお、願書の配布は、例年2月中旬から3月上旬であることが通常です。

願書のご提出は忘れずに！

試験に関するお問合せ先

国土交通省 不動産・建設経済局 地価調査課
TEL：03-5253-8378（不動産鑑定士係）

実務修習に関するお問合せ先

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会
TEL：03-3434-2301（実務修習担当課）

◎論文対策講座「鑑定理論」演習における電卓使用について

論文対策講座「鑑定理論」において、演習問題を扱う下記の講座では、電卓を使用して講義を行います。お手数ですが、各自必ずご用意をお願いいたします。

講座名	該当する講義回
論文実戦答練	第4回・第5回
必修論点総ざらい講座	第5回
論文中答練	第4回・第5回

なお、電卓をお選びいただく際のポイントは次の通りです。

1. 概ね12桁まで計算できるもの。
2. 数字の表示が大きく見やすいもの。
3. 最低限「GT機能」「メモリー機能」がついているもの。
4. ソーラーパワーだけでなく、電池も内蔵しているもの。
5. 紙に記録する機能及びプログラム入力又はプログラム記憶機能のない、計算機能のみのもの（関数電卓は不可）

論文対策・各講座のご案内

(1) 分野別過去問解析＋α答練（全24回） ※答案提出・添削あり

《この答練は、予め分野が指定されています。出題範囲表は答練教材と一緒に送付します》

【答練・解説講義時間：問題1 講義 約50分→問題2 答練 60分→問題2 解説講義 約20分】

【民法】（全6回）

使用教材：オリジナルレジュメ、問題用紙、解答用紙

【経済学】（全6回）

使用教材：オリジナルレジュメ、問題用紙、解答用紙

【会計学】（全6回）

使用教材：オリジナルレジュメ、問題用紙、解答用紙

【鑑定理論】（全6回）

使用教材：オリジナルレジュメ、問題用紙、解答用紙

<概要>

この答練では、前半で過去問を題材にした問題1のインプット講義（解説講義）を受講した後に、問題2の答案を作成してもらいます。問題2は、前半の講義で扱った類似問題を出題します。そして、後半の講義で問題2の解説を行います。

問題1も答案を作成するか、答案構成を行ってから講義に望むことをお勧めします。

この答練は、予め分野が指定されているため、年間を通し、学習のペースメーカーとして受講することが可能です（出題範囲表は答練教材と一緒に送付します）。

なお、問題2の答案は、必ず提出して添削指導を受けるようにしてください。

(2) 論文実戦答練（全14回） ※答案提出・添削あり

《この答練は、予め分野が指定されています。出題範囲表は答練教材と一緒に送付します》

【答練・解説講義時間：答練120分→解説講義 約50分】

【鑑定理論】（全5回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙 ※第4回・第5回の答練で電卓を使用します

【会計学】（全3回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

【経済学】（全3回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

【民法】（全3回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

<概要>

この答練では、本試験と同様に各科目2時間で2問（演習は1問）の時間配分で実戦的な問題を解き、今まで学習してきた知識が、答案上に表現できる知識になっているかを確認します。
必ず添削指導を受けてください。

(3) 必修論点総ざらい講座（全 14 回）

【講義時間：約 2.5 時間（約 35 分×4 ユニット）】

【鑑定理論】（全 5 回）

使用教材：必修論点総ざらいテキスト（鑑定理論） ※第 5 回の講座で電卓を使用します

【会計学】（全 3 回）

使用教材：必修論点総ざらいテキスト（会計学）

【経済学】（全 3 回）

使用教材：必修論点総ざらいテキスト（経済学）

【民法】（全 3 回）

使用教材：必修論点総ざらいテキスト（民法）

<概要>

この講座では、今まで学習してきた論文科目の基本論点や特に重要な論点、また、本試験に出題が予想される論点を、問題集形式のテキストを用いて総ざらいしていきます。忘れかけていた知識やあやふやな分野を、もう一度確認することで確実に合格に近づくことができます。本試験を意識して、直前期の学習の指針として活用してください。

事前に講義進度表を送付しますので、答案構成を行ってから講義に望むことをお勧めします。

(4) 論文中答練（全 14 回） ※答案提出・添削あり

【答練・解説講義時間：答練 120 分→解説講義 約 50 分】

【鑑定理論】（全 5 回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙 ※第 4 回、第 5 回の答練で電卓を使用します

【会計学】（全 3 回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

【民法】（全 3 回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

【経済学】（全 3 回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

<概要>

本試験で出題が予想される論点を確実なものとする講座です。近年の出題傾向・試験委員を踏まえた本試験レベルの問題を出題します。

科目によっては歯ごたえのある問題を出題することもあります。今までの学習で培ってきた知識をもとに、絶対に白紙にしないことを心がけて答案作成力を高めてください。これが最後の答練となります。必ず添削指導を受けてください。

(5) 全日本論文公開模擬試験（全2回） ※答案提出・添削あり

【模試・解説講義時間】

民法：模試 120 分→解説講義 約 30 分

経済学：模試 120 分→解説講義 約 30 分

会計学：模試 120 分→解説講義 約 30 分

鑑定理論（論文Ⅰ）：模試 120 分→解説講義 約 30 分

鑑定理論（論文Ⅱ）：模試 120 分→解説講義 約 30 分

鑑定理論（演習）：模試 120 分→解説講義 約 30 分

使用教材：問題用紙（各科目）、総合解説冊子、解答用紙（各科目）

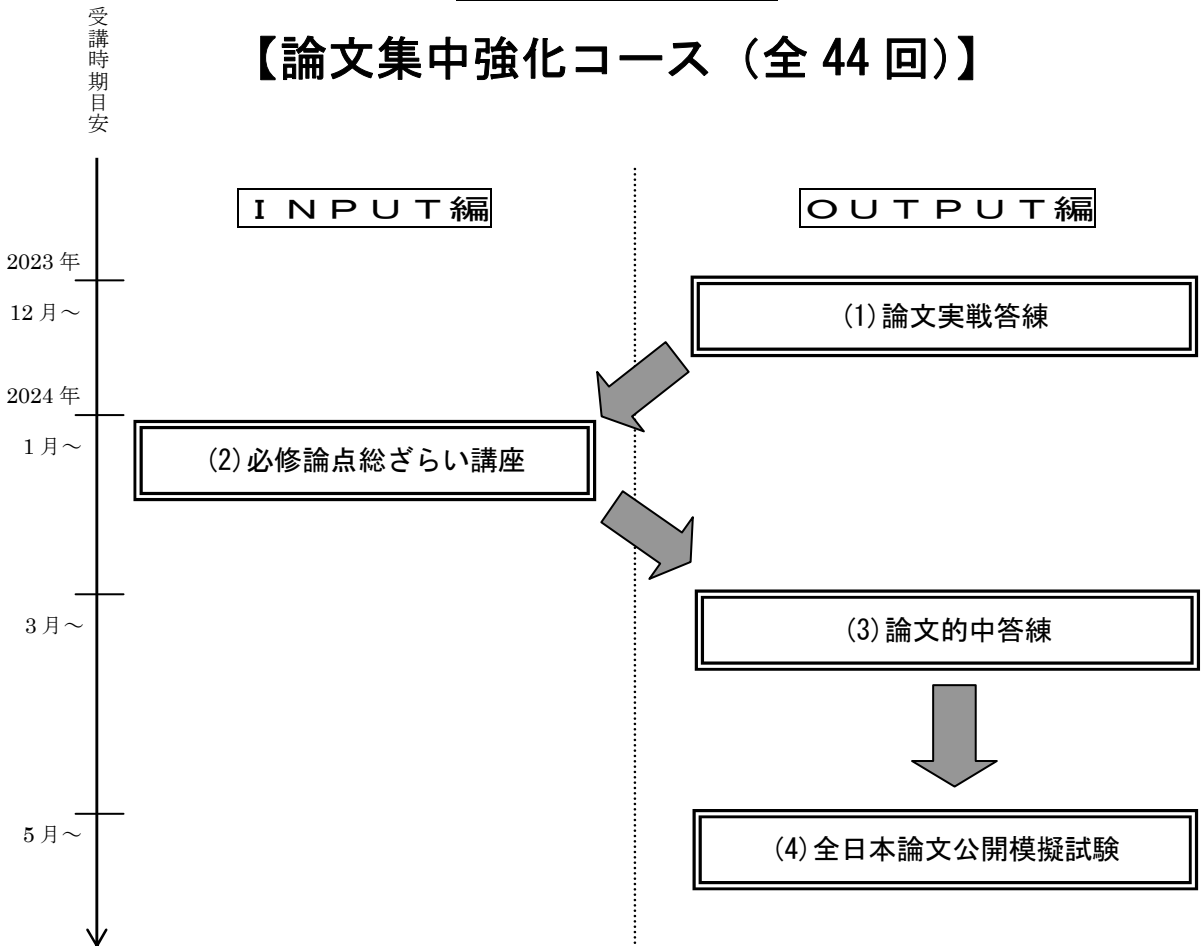
<概要>

論文式試験に向けての総決算です。本試験レベルの問題を直前期に解いてもらい、現時点での合格可能性を判定します。そして、この合格可能性をもとに本試験までに学習すべき事項を再確認してラストスパートの指針としてください。

通信クラスの方は、論文式試験と同様の時間帯・日程で解くことを強くお勧めします。

学習の進め方

【論文集中強化コース（全44回）】



※ 各講座の受講時期はあくまでも目安です。受講開始時期により異なります。

論文対策・各講座のご案内

(1) 論文実戦答練(全14回) ※答案提出・添削あり

《この答練は、予め分野が指定されています。出題範囲表は答練教材と一緒に送付します》

【答練・解説講義時間：答練120分→解説講義 約50分】

【鑑定理論】(全5回)

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙 ※第4回・第5回の答練で電卓を使用します

【会計学】(全3回)

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

【経済学】(全3回)

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

【民法】(全3回)

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

<概要>

この答練では、本試験と同様に各科目2時間で2問(演習は1問)の時間配分で実戦的な問題を解き、今まで学習してきた知識が、答案上に表現できる知識になっているかを確認していただきます。必ず添削指導を受けてください。

(2) 必修論点総ざらい講座(全14回)

【講義時間：約2.5時間(約35分×4ユニット)】

【鑑定理論】(全5回)

使用教材：必修論点総ざらいテキスト(鑑定理論) ※第5回の講座で電卓を使用します

【会計学】(全3回)

使用教材：必修論点総ざらいテキスト(会計学)

【経済学】(全3回)

使用教材：必修論点総ざらいテキスト(経済学)

【民法】(全3回)

使用教材：必修論点総ざらいテキスト(民法)

<概要>

この講座では、今まで学習してきた論文科目の基本論点や特に重要な論点、また、本試験に出題が予想される論点を、問題集形式のテキストを用いて総ざらいしていきます。忘れかけていた知識やあやふやな分野を、もう一度確認することで確実に合格に近づくことができます。本試験を意識して、直前期の学習の指針として活用してください。

事前に講義進度表を送付しますので、答案構成を行ってから講義に望むことをお勧めします。

(3) 論文的中答練（全 14 回） ※答案提出・添削あり

【答練・解説講義時間：答練 120 分→解説講義 約 50 分】

【鑑定理論】（全 5 回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙 ※第 4 回、第 5 回の答練で電卓を使用します

【会計学】（全 3 回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

【民法】（全 3 回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

【経済学】（全 3 回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

<概要>

本試験で出題が予想される論点を確実なものとする講座です。近年の出題傾向・試験委員を踏まえた本試験レベルの問題を出題します。

科目によっては歯ごたえのある問題を出題することもあります。今までの学習で培ってきた知識をもとに、絶対に白紙にしないことを心がけて答案作成力を高めてください。これが最後の答練となります。必ず添削指導を受けてください。

(4) 全日本論文公開模擬試験（全 2 回） ※答案提出・添削あり

【模試・解説講義時間】

民法：模試 120 分→解説講義 約 30 分

経済学：模試 120 分→解説講義 約 30 分

会計学：模試 120 分→解説講義 約 30 分

鑑定理論（論文Ⅰ）：模試 120 分→解説講義 約 30 分

鑑定理論（論文Ⅱ）：模試 120 分→解説講義 約 30 分

鑑定理論（演習）：模試 120 分→解説講義 約 30 分

使用教材：問題用紙（各科目）、総合解説冊子、解答用紙（各科目）

<概要>

論文式試験に向けての総決算です。本試験レベルの問題を直前期に解いてもらい、現時点での合格可能性を判定します。そして、この合格可能性をもとに本試験までに学習すべき事項を再確認してラストスパートの指針としてください。

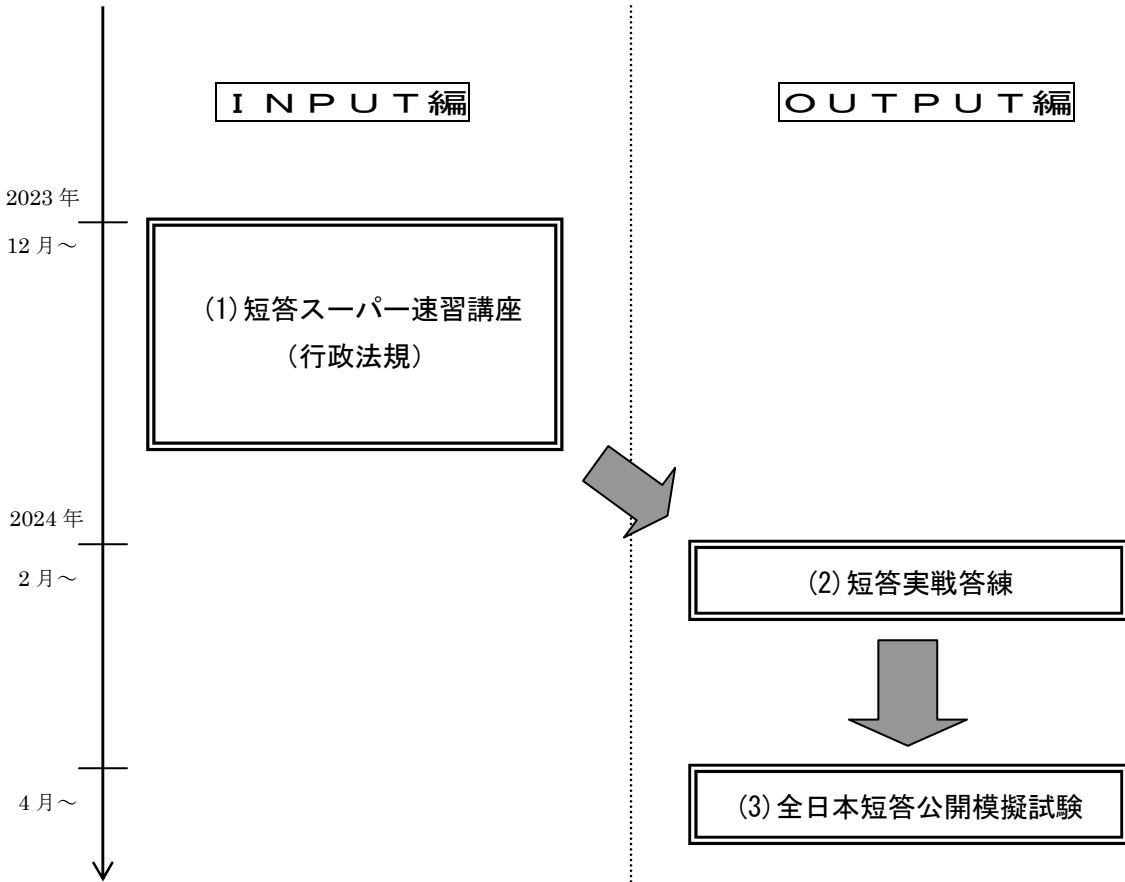
通信クラスの方は、論文式試験と同様の時間帯・日程で解くことを強くお勧めします。

【メモ】

学習の進め方

【短答再チャレンジ安心コース（全16回）】

受講時期目安



※各講座の受講時期はあくまでも目安です。受講開始時期により異なります。

短答対策・各講座のご案内

(1) 短答スーパー速習講座・行政法規（全9回）

【講義時間：約2.5時間（約35分×4ユニット）】

使用教材：合格基礎テキスト（行政法規）

復習用教材：肢別行政法規 上下巻

<概要>

この講座は、短答合格のために必要な知識を短時間で習得できる、速習専用インプット講座です。短答合格のため絶対に押さえてはならない知識に絞って講義しますので、短答学習経験者には最適の講座です。

令和6年(2024年)短答式試験は、2023年9月1日時点で施行されている法令が試験範囲となり、この講座では、短答式試験合格に必要な改正点を反映した講義を行います。

(2) 短答実戦答練（全6回） ※マークシート提出またはWEB解答

【答練・解説講義時間：答練120分→解説講義 約50分】

【鑑定理論】（全3回）

使用教材：オリジナル問題冊子、解説冊子、マークシート

【行政法規】（全3回）

使用教材：オリジナル問題冊子、解説冊子、マークシート

<概要>

本試験レベルの実戦的な答練を通じて知識の更なる定着・向上を図るとともに、本試験への対応力を身に付けます。問題演習を数多くこなすことで、自らの弱点を発見し、直前期に行うべき学習内容を把握するようにしてください。間違えた問題は、必ず肢別過去問集を使って知識の定着をはかってください。

各科目全3回とも全範囲より出題します。また、問題冊子とマークシートは、本試験と同様の仕様で、できる限り本試験を模して作成しています。

(3) 全日本短答公開模擬試験（全1回） ※マークシート提出またはWEB 解答

【模試・解説講義時間】

行政法規：模試 120 分→解説講義 約 50 分

鑑定理論：模試 120 分→解説講義 約 50 分

使用教材：問題冊子（各科目）、解説冊子（各科目）、マークシート（各科目）

<概要>

短答式試験に合格するための知識の総決算をします。今までの学習で培ってきた知識で、本試験さながらの問題を解いて、短答式試験直前での自分の合格可能性を把握して、本試験までの残りの期間に学習すべき事項を確認してください。

本試験の予行演習なので、全範囲より出題します。また、短答実戦答練と同様に、問題冊子とマークシートは、本試験と同様の仕様で、できる限り本試験を模して作成しています。

通信クラスの方は、短答式試験と同様の時間帯で解いてみることを強くお勧めします。

2024年受験向け 通信クラス スケジュール(論文対策)

講座名	科目	教材	Web配信・音声DL・ 教材発送開始日	論文答案提出 一次〆切(目標)	論文答案提出 最終〆切(必着)
分野別過去問解析+α答練 ※ (全24回)	民法 (6回)	問題用紙・解答用紙 オリジナルレジュメ	2023.9.7(木)	2024.6.28(金)	
	経済学 (6回)	問題用紙・解答用紙 オリジナルレジュメ			
	会計学 (6回)	問題用紙・解答用紙 オリジナルレジュメ			
	鑑定理論 (6回)	問題用紙・解答用紙 オリジナルレジュメ			
論文実戦答練 (全14回)	会計学 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2023.10.26(木)	2024.1.5(金)	2024.6.28(金)
	経済学 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2023.11.30(木)	2024.2.2(金)	
	鑑定理論 (5回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子			
	民法 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子			
必修論点総ざらい講座 (全14回)	会計学 (3回)	必修論点 総ざらいテキスト	2023.12.21(木)	-	
	経済学 (3回)	必修論点 総ざらいテキスト			
	民法 (3回)	必修論点 総ざらいテキスト	2024.1.25(木)		
	鑑定理論 (5回)	必修論点 総ざらいテキスト			
論文中答練 (全14回)	鑑定理論 (5回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2024.3.7(木)	2024.4.26(金)	2024.6.28(金)
	民法 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子			
	会計学 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2024.4.25(木)	2024.6.14(金)	
	経済学 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子			
全日本論文公開模擬試験 (全2回)	第1回目	問題用紙・解答用紙	2024.5.30(木)	2024.6.14(金)	
		解説冊子	2024.6.13(木)		
	第2回目	問題用紙・解答用紙	2024.6.13(木)	2024.6.28(金)	
		解説冊子	2024.6.27(木)		

◎論文対策 Web配信・音声DL期限:2024.12.31(火)

※ 論文集強化コースには付属しません。

- 各講座各科目のWeb配信・音声DL・教材発送開始日に、全回数分まとめて配信・発送します。
- 論文答案の提出(一次〆切)は、LECが推奨する提出日(目標)です。できるだけこの一次〆切に間に合うように学習計画を立ててください。
- 論文答案の提出(最終〆切)は、LEC必着日です。これ以降に到着したものは原則として成績処理・添削ができません。
- 教えてチューターやスコアオンライン等のフォロー制度の期限は、Web配信・音声DL期限に準じます。

2024年受験向け 水道橋本校 通学クラス スケジュール(論文対策)

■論文実戦答練

12月生			
生クラス			
科目	回数	10:00~13:00① 14:00~17:00②	
会計学	1	2023. 12. 9(土)	①
	2	12. 16(土)	①
	3	12. 23(土)	①
経済学	1	12. 9(土)	②
	2	12. 16(土)	②
	3	12. 23(土)	②
鑑定理論	1	2024. 1. 6(土)	①
	2	1. 6(土)	②
	3	1. 13(土)	②
	4	1. 20(土)	②
	5	1. 27(土)	②
民法	1	1. 13(土)	①
	2	1. 20(土)	①
	3	1. 27(土)	①

■必修論点総ざらい講座

2月生			
生クラス			
科目	回数	10:00~12:30① 13:30~16:00②	
会計学	1	2024. 2. 3(土)	①
	2	2. 3(土)	②
	3	2. 10(土)	①
経済学	1	2. 10(土)	②
	2	2. 17(土)	①
	3	2. 17(土)	②
鑑定理論	1	2. 24(土)	①
	2	2. 24(土)	②
	3	3. 2(土)	①
	4	3. 2(土)	②
	5	3. 9(土)	①
民法	1	3. 9(土)	②
	2	3. 16(土)	①
	3	3. 16(土)	②

■論文的中答練

3月生			
生クラス			
科目	回数	10:00~13:00① 14:00~17:00②	
鑑定理論	1	2024. 3. 30(土)	①
	2	3. 30(土)	②
	3	4. 6(土)	②
	4	4. 13(土)	②
	5	4. 20(土)	②
民法	1	4. 6(土)	①
	2	4. 13(土)	①
	3	4. 20(土)	①
会計学	1	5. 25(土)	①
	2	6. 1(土)	①
	3	6. 8(土)	①
経済学	1	5. 25(土)	②
	2	6. 1(土)	②
	3	6. 8(土)	②

■全日本論文公開模擬試験

全2回		
解説Web/DVD		
回数	実施日時	
1	2024. 6. 15(土)	2024. 6. 16(日)
2	2024. 6. 29(土)	2024. 6. 30(日)
科目	10:00~12:00	
	民法	鑑定理論(論文)
	13:30~15:30	
	経済学	鑑定理論(論文)
	16:00~18:00	
	会計学	鑑定理論(演習)

下記の講座は通信受講となります

■分野別過去問解析+α答練※
※論文集中強化コースには付属しません。

模擬試験実施本校

水道橋本校/富山本校/金沢校/
梅田駅前本校/京都駅前本校/神戸本校/
岡山本校/広島本校/
長崎駅前校/佐世保駅前校

- テキストはご自宅よりご持参ください(答練・模試を除く)。
- 通学スケジュールが終了している科目は、Web・音声DL・DVDでご受講ください。
- 実施スケジュールは、事前の予告なく変更または中止する場合があります。また、参加人数が5名以下の場合はやむを得ず他の受講形態へ変更または中止する場合があります。予めご了承ください。
- 欠席した場合の配布物の受領可能期間は当該実施日を含めて1ヶ月間とし、それ以降はお渡しできません(LEC申込規定第9条5項)。

2024年受験向け 通信クラス スケジュール(短答対策)

講座名	科目	教材	Web配信・音声DL・教材発送開始日	マークシート提出 WEB解答入力 最終〆切(必着)
短答スーパー速習講座 (全9回)	行政法規	合格基礎テキスト 令和5年度版 年度別 短答本試験問題集	2023.11.30(木)	-
短答実戦答練 (全6回)	鑑定理論 (3回)	問題冊子・解説冊子 マークシート	2024.2.15(木)	2024.4.12(金)
	行政法規 (3回)	問題冊子・解説冊子 マークシート		
全日本短答公開模擬試験 (全1回)	全2科目	問題冊子・解説冊子 マークシート	2024.3.28(木)	2024.4.12(金)

※短答対策 Web配信・音声DL期限:2024.8.31(土)

- 各講座各科目のWeb配信・音声DL・教材発送開始日に、全回数分まとめて配信・発送します。
- マークシート・WEB解答入力の最終〆切は、必着・入力期限日です。これ以降に到着・入力したものは原則として成績処理ができません。

水道橋本校 通学クラス スケジュール(短答対策)

■短答実戦答練

3月生			
生クラス			
科目	回数	10:00~13:00① 14:00~17:00②	
行政法規	1	2024. 3. 24(日)	①
	2	3. 31(日)	①
	3	4. 7(日)	①
鑑定理論	1	3. 24(日)	②
	2	3. 31(日)	②
	3	4. 7(日)	②

■全日本短答公開模擬試験

全1回	
解説Web/DVD	
2024. 4. 14(日)	
実施時間	10:00~12:00
	行政法規
	13:30~15:30
	鑑定理論

模擬試験実施本校

水道橋本校/札幌本校/富山本校/金沢校/
梅田駅前本校/京都駅前本校/神戸本校/
岡山本校/広島本校/長崎駅前校/佐世保駅前校

右記の講座は通信受講となります ■短答スーパー速習講座(行政法規)

- 実施スケジュールは、事前の予告なく変更または中止する場合があります。また、参加人数が5名以下の場合はやむを得ず他の受講形態へ変更または中止する場合があります。予めご了承ください。
- 欠席した場合の配布物の受領可能期間は当該実施日を含めて1ヶ月間とし、それ以降はお渡しできません(LEC申込規定第9条5項)。

【Web 講座の視聴期限・成績表や添削答案の閲覧期限】

Web 視聴/音声DL/スマホ視聴期限・成績表や添削答案の閲覧期限は、以下の通りです。

短答対策講座：2024年8月31日（土）まで

論文対策講座：2024年12月31日（火）まで

【教えてチューター】

コース受講生には、ネットから講師に直接質問できる「教えてチューター」が標準装備されています（回数制限なし）。質問の受付期限は、Web 講座の視聴期限に準じます。

ご回答には、1週間～10日程度かかります。また、年末年始・夏季休暇時期はさらにお時間を要する場合があります。

【レジュメ・講義板書について】

講座や科目によってはレジュメ・講義板書等がつくものがあります。

【お知らせ・訂正情報等について】

講座や教材についてのお知らせ・訂正情報等は下記不動産鑑定士サイト内のページよりご確認ください。



<http://www.lec-jp.com/kanteishi/info/teisei/>

【欠品および画像の不良など】

万一、教材に欠品がある、画像や音声に不良があるなどの場合は大変お手数ですが下記までご連絡ください。

不良の程度が著しく、学习上支障をきたすと認められる場合は、お取替えさせていただきます。

LEC東京リーガルマインド コールセンター

0570-064-464（ナビダイヤル）

固定電話・携帯電話共通（PHS・IP電話からはご利用できません）

受付時間：平日/09:30～20:00 土・祝/10:00～19:00

日/10:00～18:00

※通話料金はおお客様負担となります。予めご了承ください。

「答練・模試」受講上の注意事項

【論文式対策】

1. 概要

◎「分野別過去問解析＋ α 答練」

講義時間：各科目 各回 約 50 分

解答時間：各科目 各回 60 分

問題数：各科目 各回 1 問

出題範囲：出題範囲指定

解説講義：各科目 各回 約 20 分

◎「論文実戦答練」

解答時間：各科目 各回 120 分

問題数：各科目 各回 2 問 ※鑑定理論・演習は 1 問

出題範囲：出題範囲指定

解説講義：各科目 各回 約 50 分

◎「論文的中答練」

解答時間：各科目 各回 120 分

問題数：各科目 各回 2 問 ※鑑定理論・演習は 1 問

出題範囲：全範囲

解説講義：各科目 各回 約 50 分

◎「全日本論文公開模擬試験」

解答時間：各科目 120 分 ※鑑定理論は、論文 120 分×2、演習 120 分

問題数：各科目 2 問 ※鑑定理論は、論文 4 問、演習 1 問

出題範囲：全範囲

解説講義：各科目 約 30 分 ※鑑定理論は、論文 約 30 分×2、演習 約 30 分

2. 答案作成時の注意

- ① ボールペンまたは万年筆（黒インクまたは青インク）を使用してください。それ以外で書くと無効となります。消しゴム等で消えるボールペンは不可です。
- ② **修正液等の使用はできません。訂正がある場合には、二重線を引くなどして訂正してください。**
- ③ 解答用紙の余白、得点欄やコメント欄は、必ず空白のままにしてください。質問などは「教えてチューター」（コース生のみ）を利用してください。
- ④ 解答用紙の記入事項（受講地・氏名・受講証番号・科目・回数・問題番号等）は、必ず全て記入してください。
- ⑤ **会計学と鑑定理論（演習）は、電卓の使用が認められています。また、経済学・会計学・鑑定理論（演習）は、専用の解答用紙（分野別過去問解析＋ α 答練を除く）にて解答してください。**

- ⑥ テキストや解説レジュメ等を参照して解答を作成した場合や、制限解答時間を超えて解答を作成した場合は、解答用紙 1 頁右上のチェック欄にチェックをいれてください。添削の際に参考とします。
- ⑦ 論文免除科目につきましては、国土交通省が取扱方法について具体的に発表していないため、平均点を付与する等の特別な対応を行っておりませんので（0 点として取り扱います）、解答用紙を提出する必要はありません。

3. 答案の提出方法

【通学】解答終了後、受講地で解答用紙を提出してください。

【通信】解答の上、解答用紙を期日までに郵送してください。

4. 答案の返却方法

採点した添削答案は My ページ スコアオンライン上でご覧いただけます。閲覧には必ず My ページへの登録が必要です。

郵送返却オプションをお申込の方には、郵送にて添削答案を送付します。

なお、模試を除く各種答練では、講評および総合成績表の発行はございませんが、公式ブログ(<http://leckanteishi.blog.fc2.com/>)や My ページ内にて、通学クラスの平均点・最高点・順位・講評等を随時 UP します。

5. 合格答案の My ページ スコアオンライン上 UP (全日本論文公開模擬試験のみ)

添削した答案の中から、合格答案として各科目 1 通選択し、総合成績表とともに My ページ スコアオンライン上に UP します。その際は、お名前等を伏せて、個人が特定できないように十分配慮します。

合格答案とは、実際の本試験において、一般的な合格者なら十分解答可能な記述量・記述内容で、合格点 + α であると推測される答案を言います。優秀答案ではありません。

6. 答案添削の最終締切日

提出期限は、**2024 年 6 月 28 日 (金) (必着)** です。

《全日本論文公開模擬試験 第 1 回のみ、2024 年 6 月 14 日 (金) (必着)》
期限を過ぎてから提出された場合は、原則として添削ができません。

【短答式対策】

1. 概要

◎「短答実戦答練」「全日本短答公開模擬試験」

解答方法：マークシート提出またはWEB 解答

解答時間：各科目 120 分

問題数：各科目 40 問

出題範囲：全範囲

解説講義：各科目 約 50 分

2. 解答の提出方法

【通学】解答終了後、受講地でマークシートを提出してください。

【通信】マークシート提出：解答の上、期日までに郵送してください。

WEB 解答:My ページ スコアオンライン上で期日までに入力してください。

3. 解答時の注意

- ①マークシートには、黒鉛筆（HB 又は B）・消しゴム（プラスチック製）を使用
して解答してください。
- ②マークシートには、必要事項（受講地・氏名・受講証番号・科目・回数等）を必
ず記載してください。
- ③WEB 解答の場合、マークシートの提出は不要ですが、本試験では必ずマークシ
ートにて解答します。本試験の予行演習も兼ねて、まずマークシートに解答を記入
してから WEB 解答入力をするようにしてください。

4. 成績表の返却方法

成績表は My ページ スコアオンライン上でご覧いただけます。閲覧には必ず My
ページへの登録が必要です。登録方法は巻末にてご確認ください。

郵送返却オプションをお申込の方には、郵送にて成績表を送付します。

5. マークシート提出締切日・WEB 解答入力期限

全ての答練・模試のマークシート提出締切日・WEB 解答入力期限は、**2024 年 4
月 12 日（金）（必着）**です。

期日を過ぎてから提出された場合は、原則として成績処理ができません。

（注）通学クラスにて受講される場合、問題冊子・解説冊子等の配布物は、通学クラス実
施本校にて、通学クラスの実施日に配布いたします。

なお、通学クラスの実施日に欠席された場合は、実施日を含めて 1 ヶ月間、通学ク
ラス実施本校にて配布物を受け取ることができます。